

目指す学校像	確かな学力と人間力を兼ね備え、渋沢栄一翁の教えに学び、地域へ貢献するとともに世界で活躍できる人材を育てる学校。
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>自ら学ぶ姿勢を持ち、確かな学力とビジネスの実践力を持った生徒を育成する。</li> <li>マナーと規律を守り、心身ともに健全で思いやりのある生徒を育成する。</li> <li>進路に対する高い志を持ち、その実現のために主体的に活動する生徒を育成する。</li> <li>地域・保護者と連携し、地域・保護者に信頼される学校を作る。</li> </ol>
------	---

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する)は複数設定可。  
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成	(8割以上)
	B	概ね達成	(6割以上)
	C	変化の兆し	(4割以上)
	D	不十分	(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

学校自己評価					令和7年度評価(月日現在)		
年度目標					評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標			
1	現状 生徒は積極的に授業に取り組んでおり授業内容も概ね理解している。保護者においても、本校の資格取得を中心とした学力向上への期待は高い。 課題 ・主体的に学習に取り組もうとする生徒の育成及び家庭学習の定着。 ・上位の資格取得が目指せる環境の充実。 ・ICTを活用した質の高い授業の工夫。	<ol style="list-style-type: none"> <li>生徒に意欲を持たせるような授業の工夫及び授業以外での学習時間</li> <li>検定合格者数</li> <li>効果的なICTの利活用</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>生徒自ら考え、表現するなど生徒主体の授業を展開し、学習意欲の向上と学習習慣の定着を図る。</li> <li>資格取得を奨励して、学習の動機付けを行い、より広範で高度な資格取得を目指す。</li> <li>ICTやデジタル教材を活用し、わかる授業及び個別最適な学びに、力点を置いて取り組む。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>生徒の授業への取組状況や理解度等。(生徒アンケート)</li> <li>各種検定の取得状況や生徒の満足度等。(普通教科も含む)</li> <li>分かる授業や効果的な個別学習を支援するために、全校的にコンピュータやタブレット等のICT活用が進んだか。(活用状況調査等)</li> </ol>			
2	現状 挨拶や身だしなみについては地域からも高く評価されているが、通学時の自転車の交通マナーなど、地域住民からの評価が低い。 学校運営に関して、生徒が主体的に関わる機会が少ない。 課題 ・登下校時の自転車の交通マナーについて徹底。 ・生徒会を中心とした生徒主体の学校運営。	<ol style="list-style-type: none"> <li>自転車など登下校時での交通マナーの向上</li> <li>生徒の意見を反映した学校運営の実現</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>登下校時での自転車の乗り方や交通ルールの周知及び徹底など、交通安全教育を推進していく。</li> <li>生徒総会や学校評価懇話会だけでなく、生徒が学校運営に主体的に関われる機会を増やし、魅力ある学校づくりを推進していく。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>交通事故の件数や保護者(生徒アンケート)及び地域住民からの声等。 警察等の外部機関と連携した交通安全の取組を実施。</li> <li>生徒意見を反映させた学校運営の実施等。地域の方とのふれあいやボランティア活動等を通じた人格形成を図る取組を実施できたか。</li> </ol>			
3	現状 生徒、保護者ともに進路実現に関しての満足度は高い。 就職よりも専門学校を含めた進学を選択する生徒が多くなっている。 四年制大学への進学や公務員等への就職も着実に増えている。 課題 ・1年次からの進路意識の醸成。 ・キャリアノートの活用状況の向上。 ・組織的かつ体系的な進路指導。	<ol style="list-style-type: none"> <li>ガイダンス機能の強化(キャリア形成支援の充実)</li> <li>進路に向けた意識・意欲向上</li> <li>生徒の進路希望に寄り添った進路指導の充実</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>外部講師を招いたキャリア教育を実践するなど、ガイダンス機能を強化し、進路意識の醸成を図る。(進学後の目標や将来の職業観や就業意欲を高める指導の充実)</li> <li>すべての学年において段階的かつ効果的なキャリアノートの活用を促す。</li> <li>教員の指導力(キャリアカウンセリング)向上と生徒及び保護者の意向を踏まえた進路指導。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>キャリア教育に関連する講演会の実施状況や進路意識の向上等。</li> <li>キャリアノートの活用と進路実現の状況等。(生徒アンケート)</li> <li>面談等により、生徒の進路意識が向上し、進路実現が果たされたか。生徒及び保護者の満足度調査等(アンケート等)。</li> </ol>			
4	現状 PTA、後援会、同窓会及び地域や企業との連携は十分に行うことができている。学校ホームページやインスタなど定期的に更新し、学校の取組を発信している。 課題 ・中学生や保護者に、本校の教育内容や商業の魅力伝えるための戦略的な情報発信。 ・地域のイベントや地元企業と連携した教育活動の充実。 ・PTA、後援会、同窓会と連携した教育活動の充実。	<ol style="list-style-type: none"> <li>教育内容の効果的な情報発信</li> <li>地域の官民学との連携強化</li> <li>PTA、後援会、同窓会等との連携強化</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>県のSNSなどを活用した戦略的な情報発信及び広報活動の充実を図る。</li> <li>県や深谷市、県内企業や大学、専門学校と協働した事業を展開する。</li> <li>PTAや後援会・同窓会と連携しながら、保護者の信頼に応える学校づくりに努める。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>学校説明会や体験入学の満足度調査(アンケート等)や参加状況等。</li> <li>地域や企業との連携や地域に関する行事、近隣学校との連携等。</li> <li>PTAとの連携行事の満足度調査(保護者アンケート等)や後援会・同窓会との連携行事等。</li> </ol>			

学校関係者評価	
実施日	令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	